

# 石垣市於茂登「おもと公民館」

生産  
部門

## 森の集落で創るふるさとづくり (平成20年度認定)



石垣島の中央部にある県内最高峰の於茂登岳の麓に位置するおもと集落は、昭和32年5月に沖縄本島より開拓移民として入植した集落である。

農業については、さとうきび及びパインの生産体系であったが、農業構造改善事業、土地改良事業など各種事業の導入後は、さとうきびを主に野菜、花卉、畜産などの複合経営が盛んであり、於茂登岳を源流とする水を利用した農地を潤す取水・配水施設を集落で直接管理する、特色のある農業を行っている。

また、農村環境整備においても、農村公園、多目的集会施設等が整備され、旧盆のエイサーや研修、サークル活動など、コミュニケーションの場として利用されているとともに、集落の前のロータリーには児童、婦人会も含め環境美化として色とりどりの花を咲かせるなど積極的活動により、良好なアメニティーを提供している。

特に子供達は、資源豊かな環境を活かし毎月1回野鳥観察を実施する等、大人達との共同活動をとおして培われる地域の連帯感を学んでおり、おもと集落独自の社会教育がある。

